

令和4年度第1回旭川市農業センター運営懇話会 会議録（要旨）

- 1 日 時 令和4年8月19日（金） 午前10時から午前10時50分まで
- 2 場 所 旭川市農業センター ホール
- 3 出席者 （参加者）
後藤 英次氏，小沼 隆礼氏，谷本 守氏，西川 貴浩氏，松本 英和氏，
山口 真希氏，山崎 賢治氏，吉本 要氏，和田 澄江氏 （五十音順）
（市 側）
細矢農業センター所長ほか農業センター職員6人

4 議題

- (1) 令和4年度旭川市農業センターの事業概要について
- (2) その他

5 会議資料

- | | |
|------------|--------------------------|
| 資料1 | 令和4年度 農業センターのあらまし |
| 資料2 | 令和3年度旭川市農業センター試験成績書（概要版） |
| 資料3 | 令和4年度旭川市農業センター試験課題等一覧 |
| 資料4 | 今後の農業センターの方向性 |

6 会議の公開・非公開の別 公開

7 傍聴者 なし

8 議 事

【進行役】

それでは，次第に従い進めていきます。

まずは，(1)令和4年度旭川市農業センターの事業概要について，事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（資料1から資料4までに基づき説明）

【進行役】

ただいま，事務局から昨年度及び本年度の事業概要と，昨年，一昨年とこの場で皆さんから御意見をいただいた「今後の農業センターの方向性」に関する新たな取組内容について説明がありましたが，御質問や御意見等がありましたら，お願いいたします。

【参加者】

資料4の新規就農の関係で，「新規就農予定者等の利便性向上を目指した業務の見直し」とありますが，具体的にどんなことか教えていただきたい。

【事務局】

これにつきましては，農業センターで新規就農を希望される方を育成する業務について，もっと充実させていきたいという考えがありまして，農政部内の経営支援係とやり取りしながら，新規就農を希望されている方と地域をどのように結び付けていくかですとか，地域で研修できるようになったとして，農業センターでの研修と指導農家さんでの研修についてうまく分担といいますか，例えば，地域で指導体制が取れない場合に，センターの栽培研修の充実を図れないかですとか，部内で協議しているところです。

来年度から具体的にという話にはまだなってはいませんが、将来的に目指すところとして研修内容の充実を図っていきたいと考えているところです。

【参加者】

資料4の土づくり対策の取組強化という部分ですが、せっかくこのような施設があって、それを有効に利用していくという意味では、新事業はぜひやっていただきたいということと、進捗状況はどのようになっているのでしょうか。

【事務局】

土づくり対策支援事業については、昨年から新しく始めた事業でして、昨年は新型コロナの制約もあって計画していた現地訪問をなかなかなしにくい状況ではありました。

土壌診断の受付件数については、農業者の減少もあり、年々減少している状況にあります。ただ、農政部としても、肥料原料が高騰している中、農業振興課ではそれに対する支援を行っておりますし、農業センターとしては肥料コストを抑えていく手法としての土壌診断は非常に重要なものということを、この事業を通じて発信しているところです。

去年の分析点数については、例年を大きく超えるところまでは結びついてはならず、今年の結果はまだ未知数ですが、農政部としても、生産資材コストが経営を圧迫している状況は痛感しているところであり、各部署でやることをやっているという状況です。

【参加者】

肥料高騰対策ということで話が出てきていますが、こういった事業も併せて、支援をよろしくお願ひしたいと思います。

【参加者】

資料3、9番目のハウレンソウの試験は、10月以降の無加温条件下で実施ということですが、灯油も重油も上がっている中で、出来れば暖房機を入れた状態で、どのように暖房機を使用すれば燃料費を抑えられるのか試験をしてもらいたいと考えています。

暖房を使用することが悪のように言われて無加温栽培でという話になっていますが、実際、冬に暖房を使用して野菜を作っても、通年の農業経営の中ではたぶん赤字にはならないと思います。また、無加温だと1作しか作れないということもありますので、暖房費を抑えるような方法について試験してもらえればと思います。

【事務局】

農業センターでも、過去に暖房を使った冬野菜の栽培試験を実施しておりまして、生産者の方に実際には場を見てもらったり、結果について報告させていただいているのですが、生産者の方からは、暖房を使いたくないという方が多くいらっしゃるから、暖房機を持っていないという方もいらっしゃるから、農業センターの試験としましては、幅広い普及という面からも、暖房を使わずに無加温で実施しているところです。

ただ、農業センターには、加温機は設置しておりますので、来年度の試験課題を決めるに当たり、参考にさせていただきたいと思います。

【進行役】

ほか、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、最後に、(2)その他ということですが、農業センターに新たに求めたいことや、実施してほしいことなどがありましたらお願いいたします。

【参加者】

先日は、こちらで施設視察をさせていただきました。コロナ禍でなかなか外に出られない中、側にこのような施設があって、見学できたことが大変参考になりました。

【参加者】

前回も話した気がするのですが、稲作経営の面積が多くなっている中、年々野菜をやめていく人が多くなり、昔のように農業センターを利用している人が少なくなっていると感じており、雨紛地区だけかもしれないが、農業センターへの意識が薄くなってきていると感じています。

試験も、青果連や生産者と相談しながらやっていると思うのですが、必要としない方が多くなっているわけだから、加工食品の設備を整備するとか、都市と農村の交流機能を充実していくなど、農業センターの運営方法を変えていかなければならないのではないかと感じております。

【事務局】

御意見をいただきまして、ありがとうございます。

都市と農村の交流部分につきましては、今後の農業センターの方向性の中で、いくつか新しい取組を掲げているところですので、できれば今後を見守っていただきたいと思います。

一方、農業者を支援する業務についてですが、確かに野菜農家の方が減っているということは事実です。ただ、市内の農業全体で考えますと、例えば土壌分析や土づくりに関しては、野菜だけにとどまらない課題があり、農業センターとしてもそれに対応した業務の部分を徐々に増やしてきているところです。

また、新規就農の部分についても、農家の方が減ってきているという現実がありますので、できるだけ新規就農者を増やしていく取組についても、部内で連携しながら取り組んでいるところです。

農家の方の利用が減っているという御意見ですが、確かに米農家の方については、土壌分析以外での接点が今のところはないものですから、農家全体で言えば園芸農家の方は少ない状況ですが、先ほど申し上げたとおり、土づくりなどで園芸以外の農家の方ともできるだけ接点を持ってやっていきたいと思っておりますので、その点につきましても、今後も御意見をいただきながら、頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【参加者】

土壌分析については、非常に助かっております。よろしくお願いいたします。

【参加者】

今年は、本校の学校農園に、栽培の指導にお忙しい中来ていただきまして、大変感謝しております。

また、9月に入りましたら、うちの子どもたちがこちらの公園整備の活動に参加する予定をしておりますが、活動の機会を与えていただいていることに本当にありがたく思っております。本校としましては、せっかく敷地が隣接しておりますので、もっと農業センターと関わり、本校の学習活動の中に取り入れていきたいという気持ちを持っております。ただ、現在はコロナの関係で対外的な団体との活動を充実・発展させることがなかなか難しい状況になっておりますので、長い目で見ながら農業センターとの関わりについて、いろいろと考えていきたいと思っております。引き続き、よろしくお願いいたします。

【参加者】

当地区においては、先ほども話がありましたが、野菜を作っている方が年々減ってきており、担い手の方が水田を中心とした経営体になってきているということで、なかなか、これから野菜を増やそうというのは難しいと思っています。

ただ、水田であり、麦・そば・マメ類といった転作作物が増えてきているような状況です。

また、先ほども話がありましたが肥料が高くなっており、それに対する農家さんの負担は非常に大きくなっている状況で、国では化学肥料を2割減らしなさいといった話もありますし、そのような中で、肥料の削減について農家さんに対してヒントになるような情報提供をしていただければ非常にありがたいかなと思っています。

【参加者】

初めてこの会議に参加しましたが、非常に多様な仕事をされているところで、試験栽培や展示ほなどの農業試験以外に都市と農村の交流事業と色々とあり、様々に評価されているところも素晴らしいなと思って聞いておりました。ただ、やるのは大変だろうなというのが正直な感想で、詳しく業務内容を知らないからこそ心配になりました。取捨選択ではないですが、評価するところもあれば当然減らしていくところもあって、スクラップアンドビルドしていくことも今後あるのかなという感じを受けながら聞いておりました。

内容としては、2点ほどすごいな、大変だなというところがあり、1つは研修です。私も花野菜センターに勤務していたこともありまして、研修事業について考えたり相談したりしたこともあったのですが、指導農家さんは夏場に研修をしたい、冬場は花野菜センターで担当してほしいという話がよくあるのですが、冬場だとほぼ座学になってしまうものですから、夏冬で分けるとなかなかうまくいかないということもあるので、この先農政部内で協議していくとは思いますが、どのように指導農家とこちらの研修を組み合わせしていくのかということとは、当然必要なことではあります。十分相談しないと難しいのではないかと思います。

次に、土壌診断と土づくりの巡回も大変だな、よくやってるなと思ったのですが、土壌分析に関しても、減っているとはいっても1,000点以上やっているということで、かなりのマンパワーを使ってやっているのではないかと感心しておりました。

園芸だけでなく水稻も、土壌分析は今年は増えるのではないかという話も先ほどありましたが、肥料高騰対策で減肥をどうするのかということで、こちらのやり方を詳しくは知らないですが、分析したものをどう返すのかというところを、既に考えているとは思いますが、普及センターさんと相談しながら、さらに工夫してやっていかなければならなくなるのかなと思っています。

いずれにしても、私としましては、こんなにたくさんしたこと、よくやっているなと驚いています。

【進行役】

それでは、全体を通じまして、何か御意見等がありましたらお願いします。

ないようですので、以上をもちまして、議事を終了させていただきます。

皆様、円滑な会議の進行に御協力をいただき、ありがとうございました。